

高山市消防団及び活動に関するアンケート調査  
—報告書—

平成 30 年 9 月  
高山市消防本部

## 目次

### 第1章 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査の期間
3. 調査の項目
4. 調査の方法
5. 回収結果

### 第2章 調査結果

1. 高山市消防団活性化について（団員へのアンケート）
  - 消防団員の感想（入団動機、やりがい、家族理解度）
  - 消防団活動（自己評価、出動回数、出動状況、イメージ、改善点など）
  - 消防団の組織（班の数、団員数、管轄区域、所属団員数、活動数）
  - 今後の消防団（新入団員、将来像）
  - 応援事業所制度、消防団協力事業所制度について
2. 高山市消防団及び活動について（市民アンケート）
  - 消防団への関心
  - 消防団入団の関心
  - 入団促進
  - 消防団活動への評価、望む活動、イメージなど

### 第3章 調査のまとめ

1. 消防団員の意識
2. 市民の意識
3. 消防団員の確保に向けた主な課題、取組みが必要な事項

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

消防団員や市民に対し、消防団（活動）に対する意識調査を実施し、その結果を分析し、今後の団活動や入団促進の取り組みに繋げる事を目的とする。

### 2. 調査の期間

平成29年11月1日～平成30年1月31日

### 3. 調査の項目

- ① 高山市消防団活性化について（団員へのアンケート）
- ② 高山市消防団及び活動について（市民アンケート）

### 4. 調査の方法

- ① 高山市消防団全員（1,836人）へ紙面にて配布し、回収
- ② 郵送による配布・回収、無記名式（500人を住民基本台帳から無作為抽出）と市ホームページアンケートによる調査

### 5. 回収結果

- ① 高山市消防団活性化について（団員へのアンケート）
  - 発送数 1,836人
  - 回収数 1,543人
  - 回収率 84.0%
- ② 高山市消防団及び活動について（市民アンケート）
  - 対象者数 733人（郵送500含む）
  - 回収数 427人
  - 回収率 58.2%

## 第2章 調査結果

### 1. 高山市消防団活性化について（団員へのアンケート）

標本の構成 (団員アンケート)

		件数	構成比
性別	男	1,509	98%
	女	16	1%
	無回答	18	1%
年齢	10代	4	0%
	20代	258	17%
	30代	648	42%
	40代	522	34%
	50代	82	5%
	60代	11	1%
	70代以上	0	0%
	無回答	18	1%
職業	会社員	1,034	67%
	パート	30	2%
	自営業・農畜産業	315	21%
	無職	5	0%
	会社・団体役員	128	8%
	その他	7	0%
	無回答	24	2%

		件数	構成比
所属	高山支団	388	25%
	丹生川支団	155	10%
	清見支団	165	11%
	荘川支団	68	5%
	一之宮支団	95	6%
	久々野支団	198	13%
	朝日支団	94	6%
	高根支団	35	2%
	国府支団	169	11%
	上宝支団	158	10%
無回答	18	1%	
在籍年数	0～4年	274	18%
	5～9年	315	20%
	10～14年	289	19%
	15～19年	272	18%
	20～24年	194	12%
	25～29年	86	6%
	30～34年	35	2%
	35～39年	16	1%
	40～44年	2	0%
	45～49年	2	0%
無回答	58	4%	

この報告書における割合の算出は次の計算式から算出している。  
 回答率 = 回答数 / 標本数 (1,543)

## 1 消防団への入団動機について

- ・「団員や元団員から誘われたから」が55%と最も多い。
- ・「前から入団したいと思っていた」は3%であった。

問1 あなたが消防団に入団した動機は次のどれですか？（複数回答）

回 答	回答数	回答率
1. 前から入団したいと思っていたから	53	3%
2. 地域の慣習だから	688	45%
3. 入団するのが当然だから	199	13%
4. 団員や元団員から誘われたから	847	55%
5. 自主防災組織等の役員に勧められたから	6	0%
6. 自治会から勧められたか	13	1%
7. 先輩、知人に勧められたから	175	11%
8. 親や兄弟に勧められたから	75	5%
9. その他	49	3%
10.無回答	17	1%

その他の意見

・知人や先輩の活動を見て憧れたのがきっかけです ・地域貢献 ・折込チラシ ・仕方なく
・私自身を育ててくれた地域の皆様に感謝し貢献したいと思ったから ・知らないうちに ・再入団
・自分にも何か社会貢献できることはないかと思い入団しました
・地域の同世代と一緒に活動できるから ・操法で県大会に行きたいから ・操法がしたかった
・何回も勧誘に来るので断りきれず入った ・地元のことなので仕方なしの思いが強い
・仕事が終わって家に帰ったら玄関に消防の服が置いてあったので入団せざるを得ませんでした
・自分の家が火事や災害になった時に団員でないと助けて貰えないと思ったから
・酒がたくさん飲めると勧められた ・知らぬ間に入団させられた ・気が付いたら入団していた
・退団する消防団員に勧められた為 ・軒数の少ない地区の長男なので
・地元において長男であれば入るものだと言われていたから
・大学卒業して帰ってきたら決まっていた
・当時は各戸で1人は必ず入団するが暗黙の了解みたいな…

## 2 消防団入団後の感想について

・「多くの人と知り合えてよかった」「地域の人から喜ばれやり甲斐を感じる」が合わせて65%であった。  
 ・「訓練、行事等が多く、本業の仕事に支障がある」「消防団に入って、家族に負担をかけている」が合わせて62%であった。

問2 消防団に入団してあなたはどのような感想をお持ちですか。(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 地域の人から喜ばれ、やり甲斐を感じている	240	16%
2. 多くの人と知り合えてよかった	749	49%
3. 防災の知識や技術が身に付いた	497	32%
4. 普通では体験できないことができた(消防車の運転など)	406	26%
5. 訓練、行事等が多く、本業の仕事に支障がある	462	30%
6. 消防団に入って、家族に負担をかけている	500	32%
7. 報酬・手当が少ない	381	25%
8. 自分の時間が少なくなった	400	26%
9. その他	45	3%
10.無回答	22	1%

### その他の意見

・本業が忙しく訓練、消防行事に出れていない。
・自営を理由に休日などにも優先的に出るが、その分仕事の売上げが落ちている。
・消防団入り損の風潮が強く、やりがいを感じられなくなってきている。
・良い団体だが操法大会期間中は大変だ。・仕事に障る。
・消防団の印象が悪すぎる。・操法の時、会社家族に負担をかけている。
・音楽隊の活動は楽しい ・大変光栄であり、誇りに思っています。
・仕事で参加できないことが多く、他の団員の方々に申し訳ない。
・家族の理解が得られない。・仕事に影響が出ている、生活に関わる。
・操法大会の練習の出役は大変です。
・消防団に対しての感情は特にない。
・操法時、仕事の切り上げが早くなり残業ができない。
・入団したことにより少なからず自営の仕事を貰っている。
・ボランティアが強制的になってしまっている。・ネガティブな思いの持っている団員が多い。
・合併前は消防団活動に時間を取られることが多かった。消防に関する知識を得られてよかった。
・操法を見直した方がよい。本来の意味、練習期間等。
・実務に即した技術がつくような活動が望ましい。
・報酬、手当が個人に入らない。あまり活動ができていないため他の団員に申し訳ない。

### 3 消防団活動でのやりがいについて

「消火活動(消防署の消火活動の補助を含む)」が62%で最も多い

問3 あなたが消防団に入団してやり甲斐があると思う活動や業務は次のどれですか。

回 答	回答数	回答率
1. 消火活動(消防署の消火活動の補助を含む)	958	62%
2. 市民等に対する消防訓練等の指導	168	11%
3. 行方不明者の捜索活動	360	23%
4. 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯訪問による防火指導	50	3%
5. 市民等に対する応急手当の普及指導	46	3%
6. 地域行事(お祭りなど)での警備活動	151	10%
7. 火災予防活動	326	21%
8. その他	120	8%
9. 無回答	120	8%

その他の意見

・イベント等での演奏 ・音楽活動
・消防団のPR活動。
・操法大会 ・夜警 ・出初式 ・団員の指導
・地域住人より災害時等で頼られる
・災害時の避難活動
・やり甲斐はない。
・やりがいはない。ただ、誰かがやらなければいけないものと思う。防火防災も含め、有事の際には、その誰かが、今は自分という事と思う。
・消防団に期待される有事の活動。
・自分の指揮による部隊活動の実施及び団行事の企画。運営。
・団員同士の懇親会
・操法練習を通しての消火訓練。
・消防署のみならず警察等に対して、居住する地区等へのいわゆる地域貢献。

#### 4 消防団活動における家族理解について

- ・「家族に応援されつつ活動している」「特に積極的ではないが理解を得ている」が合わせて81%であった。
- ・「どちらかと言えば理解がない」「反対されている」は合わせて15%であった。

問4 消防団員として活動する上で、家族の理解は得られているでしょうか。

回 答	回答数	回答率
1. 家族に応援されつつ活動している	316	21%
2. 特に積極的ではないが理解を得ている	947	62%
3. どちらかと言えば理解がない	171	11%
4. 反対されている	67	4%
5. その他	22	1%
6. 無回答	20	1%

その他の意見

・時と場合による。
・はじめは反対された。徐々に理解されるようになった。
・そ知らぬふり。
・どれでもない。
・1人暮らし(家族がいない)
・理解はない。

#### 5 消防団活動の班（分団）の数について

- ・「班の数は適当である」が61%で最も多い

問5 あなたは所属している各支団の分団や班の数についてどう思われますか。

回 答	回答数	回答率
1. 班の数が多い。	120	8%
2. 班の数は適当である。	947	62%
3. 班の数が少ない。	110	7%
4. わからない	345	22%
5. 無回答	21	1%

## 6 消防団の管轄区域について

・「現状のままでよい」が69%で最も多い

問6 分団（班）の管轄区域についてあなたのお考えをお尋ねします。（○は1つ）

回 答	回答数	回答率
1. 広すぎるので分割したほうがよい	64	4%
2. 現状のままでよい	1061	69%
3. 狭すぎるので他の分団(班)と統合したほうがよい	86	5%
4. 分からない	305	20%
5. 無回答	27	2%

## 7 所属している班（分団）の団員数について

・「適当である」が48%で最も多い

問7 現在のあなたの所属している班の団員数について、あなたはどのように思われますか。

回 答	回答数	回答率
1. 大変多い	27	2%
2. どちらかといえば多い	85	5%
3. 適当である	740	48%
4. どちらかといえば少ない	310	20%
5. 大変少ない	170	11%
6. 分からない	182	12%
7. 無回答	29	2%

## 8 支団による団員数のバラつきについて

・「昔からの経緯があるので、現状のままでよい」が38%で最も多い。

・「分団(班)の人数をできるだけ揃えたほうがよい」は27%であった。

問8 消防団（支団）によっては、分団（班）の人数にバラつきがあります。その場合どのようにすればよいと思われますか。

回 答	回答数	回答率
1. 昔からの経緯があるので、現状のままでよい	587	38%
2. 分団(班)の人数をできるだけ揃えたほうがよい	409	27%
3. 分からない	514	33%
4. 無回答	33	2%

## 9 実際に活動している団員割合について

・「所属している団員の6割以上が実際に活動している」との回答が74%であった。

問9 あなたの所属している班で、実際に活動している団員の割合はどうか。

回 答	回答数	回答率
1. 分団(班)員のほぼ全員が活動している	568	37%
2. 分団(班)員の6割以上～8割未満が活動している	567	37%
3. 分団(班)員の4割以上～6割未満が活動している	290	19%
4. 分団(班)員の2割以上～4割未満が活動している	55	3%
5. 分団(班)員の2割未満しか活動していない	15	1%
6. 無回答	48	3%

## 10 行方不明者の搜索活動について

・「絶対必要」「必要」が合わせて79%であった。

・「必要でない」「あまり必要でない」は合わせて11%であった。

問10 行方不明者の搜索活動についてどう思われますか。

回 答	回答数	回答率
1. 絶対必要	243	16%
2. 必要	977	63%
3. あまり必要ではない	105	7%
4. 必要でない	32	2%
5. 分からない	146	9%
6. その他	12	1%
7. 無回答	28	2%

## 1 1 消防団活動の改革について

- ・「操法大会の改革」が59%で最も多く、次いで「式典の改革」が25%であった。
- ・「訓練は基本的な訓練、実践的な訓練を取り混ぜ年に数回実施する」が25%であった。

問 1 1 消防活動についてどう改革すればよいとおもわれますか。

回 答	回答数	回答率
1. 操法大会(小型、ポンプ車)の改革を実施する	909	59%
2. 式典(入退団式、表彰式、出初式)の改革を実施する	388	25%
3. 訓練は基本的な訓練、実践的な訓練を取り混ぜ年に数回実施する	384	25%
4. 行進、礼式などの規律訓練の改革	160	10%
5. ポンプや消火栓の点検業務の改革を実施する	161	10%
6. 確実に火災・風水害に対応できるなら、普段の訓練や点検は部の責任で実施する	209	14%
7. その他	121	8%
8. 無回答	89	6%

その他の意見

・災害の為の訓練は分団単位でやった方がよいと思う。支団では人数が多すぎる。
・式典は必要ない。式典が無駄に長いのもっと簡略化した方がよいのでは。
・大会を分団単位で持ち回りとする。 ・操法大会は無しにしてほしい。 ・操法大会を2年に1回にする。
・操法訓練の回数、時間を制限する。
・出初式はいらない。 ・無駄な行事の廃止。
・安全に活動できる指導を行ってほしい。けが等を防止。
・操法大会よりも実践的な訓練に力を入れるべき。税金の使い道も踏まえて。
・支団同士の意識改革(例:支団と支団の境あたりの消火活動)
・現状で良い。 ・現状で十分。
・若い人材が参加しやすい環境をつくるのが大切だと感じます。
・操法大会をやめ、小型ポンプ訓練を毎月2回ほど実施する。
・操法大会は無くしてほしい。代わりに全員が水を出して消火活動できる体制にしてほしい。
・年末夜警は必要ない。 ・年末夜警は要らない。
・実践的な訓練を取り混ぜ数日実施する。
・操法大会では一部の人しか行わないので、訓練を一人一人が実施できる方がよい。
・風水害の訓練もあった方がよい。
・改革とは何を意味するか分からないが、規律訓練、大会をしっかりとやるべきだと思う。
・2月～6月の市大会までの操法大会にむけての練習が、本人・家族に負担が大きすぎる点。
・勧誘ではなく、自ら入団する消防団への改革。
・火事と災害だけでよし。
・消火に関する訓練を第一に優先すべき。操法という形でなくとも、機械の使い方は学べるはず。

## 1 2 住民への訓練指導について

- ・「原則として、全員が出動している」が42%で最も多い。
- ・「交代制で当番の団員が出動する」と「分団長等からの指名で出動する」が12%であった。

問1 2 あなたの班（分団）では、住民への訓練指導の出動は主にどのようにして決めていますか。

回 答	回答数	回答率
1. 原則として、全員が出動している。	653	42%
2. 交代制により、当番にあたった団員が出動している。	179	12%
3. 分団長等から、指名された団員が出動している。	189	12%
4. 希望した団員が出動している。	111	7%
5. わからない	331	22%
6. その他	33	2%
7. 無回答	47	3%

その他の意見

・自主防災組織等からの依頼で出動。
・役職に有る者が出役することと支団で決めている。(春秋火の元点検)
・その日出られる人が出る。
・訓練指導は特に行っていない。
・地域(町内別)の団員が担当。
・都合の良い団員が出動。

## 1 3 消防団活動への自己評価について

- ・「よくやっている」「別に仕事を持っているので、可能な範囲でよくやっている」が合わせて64%であった。
- ・「あまりやっていない」「ほとんどやっていない」は合わせて11%であった。

問1 3 あなたの消防団活動をあなた自身はどのように評価されていますか。

回 答	回答数	回答率
1. よくやっている。	269	17%
2. 別に仕事を持っているので、可能な範囲でよくやっている。	725	47%
3. まあまあやっている。	354	23%
4. あまりやっていない。	122	8%
5. ほとんどやっていない。	47	3%
6. 無回答	26	2%

#### 14 消防団活動への負担について

・「消防操法」と「規律訓練」に対して多くの団員が負担を感じている。

問14 あなたが消防団員として負担に感じている業務は何ですか。

回 答	1番	2番	3番	ポイント
火災現場での消火活動	71	91	89	484
消防操法	1,221	73	21	3,830
水防活動	7	45	54	165
住民の避難誘導	5	15	21	66
住民への訓練指導	9	55	53	190
規律訓練	38	403	127	1,047
消防広報(住警器普及)	10	21	56	128
夜警	19	177	165	576
応急手当の実施・普及	4	18	39	87
資機材・水利等の点検整備	4	34	64	144
その他	21	21	18	123
無回答	134			

その他の意見

・出初式 ・式典 ・礼式
・操法後の慰労会
・捜索活動 ・水害
・活動における会社からの不満 ・会社の理解が必要なこと
・イベントへの参加 ・地域行事 ・夏祭り
・役員会議 ・団員勧誘
・ポンプ点検 ・月2回の点検 ・ラッパの練習 ・秋季春季訓練
・負担なし
・特に負担とは思わない
・防火査察
・団員勧誘
・操法以外は全て必要な業務である
・秋季春季訓練

## 15 消防団員の出動回数について

・「訓練・研修」の出動回数が最も多く、次いで「機械器具等の点検、整備」が多かった。

問15 あなたは過去1年間、消防団員として何回出動しましたか。1～6の設問の( )内にそれぞれ実数をお書きください。

回 答	回答数
1. 災害出動	1, 150
2. 訓練・研修	11, 984
3. 警戒活動	3, 965
4. 訓練指導	4, 002
5. 機械器具等の点検、整備	8, 202
6. 会議その他	3, 244
7. 無回答	970

## 16 消防団員の勤務地等について

・「所属している支団の管轄区域内」に50%の団員の職場がある。  
・市外・県内・県外の職場の団員は15%であった。

問16 あなたの職場は、次のどこですか。働いておられない方は、昼間いる場所でお答えください。

回 答	回答数	回答率
1. 所属している分団(班)の管轄区域内	464	30%
2. 1. 以外の所属している支団の管轄区域内	306	20%
3. 所属している支団の管轄区域外	463	30%
4. 市外	182	12%
5. 県内	31	2%
6. 県外	9	1%
7. 無回答	88	5%

## 17 平日での出動について

・平日昼間に出動できる団員は58%であった。

問17 平日昼間に出動がかかった場合、あなたは出動できますか。

回 答	回答数	回答率
1. 出動できる	898	58%
2. 出動できない	549	36%
3. 無回答	96	6%

## 18 消防団詰所までの参集時間について

・30分以内に参集できる団員は48%であった。

団車庫に参集する時間

回 答	回答数	回答率
～5分	182	12%
6～10分	166	11%
11分～15分	80	5%
16分～20分	106	7%
21分～25分	11	1%
26分～30分	187	12%
31分～35分	1	0%
36分～40分	44	3%
41分～45分	5	0%
46分～50分	20	1%
51分～60分	63	4%
61分以上	11	1%
無回答	667	43%

## 19 出勤できない理由について

- ・「仕事が忙しく出勤できる状況でないため」が58%で最も多い。
- ・「会社・上司の理解が得られない」「出勤すると欠勤・早退となる」が合わせて22%であった。

問19 問17で「2. 出勤できない」に○をされた方にお聞きします。出勤できない理由は何故ですか。あてはまるものに○をつけてください。

回 答	回答数	回答率
1. 仕事が忙しく出勤できる状況でないため	321	58%
2. 会社、上司の了解が得られないため	47	9%
3. 出勤時間が欠勤または早退扱いとなってしまうため	70	13%
4. 営業、外部に出ているため連絡がつきにくい	120	22%
5. 勤務先が遠距離であるため	234	43%
6. その他	55	10%

### その他の意見

・責任者の立場になることも有る為。 ・工場管理者のため抜けられない。
・要請に気付かない。 ・連絡がつかない場所にいるため。
・現場仕事の為。 ・現場が広範囲。
・勤務状況による。
・県外の仕事が多い。 ・地元にはいないことが多いため。
・交代勤務の為、週によって勤務時間帯が変わるので出勤できる時もある。
・現場へ携帯を持ってきていない。 ・現場携帯電話禁止のため連絡不通。 ・工作中連絡がつきにくい。
・そんな簡単に抜け出せる職種ではない。
・流れ作業のため、作業ラインから出れない。
・個人での移動手段がない。
・仕事中は電話等、プライベートな連絡が取れない。
・市役所職員なので職務側で出勤しなければならない
・ぎりぎりの人数でやっているから。 ・1人作業の為。
・平日でも休みの時があった場合は可能。
・工場内のアナウンスがない。携帯の使用できない場所など。
・日勤の時以外は出れる。
・班内の区域であれば理解を得られる。
・子供を保育園に迎えに行く必要があるため。

## 20 新入団員の確保について

・「現在はどうにか団員を確保しているが、今後は難しくなると思う」「現在も団員を確保できない状況であり、今後はさらに難しくなると思う」と感じている団員は合わせて87%であった。  
 ・「現在と同様に今後も確保できる」と感じている団員は3%であった。

問20 新入団員の確保について、あなたのお考えをお聞かせください。

回 答	回答数	回答率
1. 現在と同様に今後も定員を確保できると思う	42	3%
2. 現在はどうにか団員を確保しているが、今後は難しくなると思う	758	49%
3. 現在も団員を確保できない状況であり、今後はさらに難しくなると思う	580	37%
4. わからない	125	8%
5. 無回答	49	3%

## 21 消防団の将来について

・「新入団員の確保が困難となり、団活動に支障が生じる状態になる」「サラリーマン化に伴い、団活動に参加できる団員が減少してくる」の割合が高い  
 ・「防災コミュニティ等の活動を通じて地域での評価が高まり、活性化する」と感じている団員は11%であった。

問21 消防団の将来についてあなたのお考えをお聞かせください。

回 答	回答数	回答率
1. 防災コミュニティ等の活動を通じて地域での評価が高まり、活性化する	171	11%
2. 女性団員が増加し、平常時のきめ細かい活動(ひとり暮らし高齢宅の防火訪問等)が充実していく	99	6%
3. 新入団員の確保が困難となり、団活動に支障が生じる状態になる	1038	67%
4. サラリーマン化に伴い、団活動に参加できる団員が減少してくる	900	58%
5. 住民の地域への帰属意識が薄れてきて、消防団に対する期待や評価が低下する	335	22%
6. 通常の火災等の災害活動は消防職員に任し、地震や水害等の大規模災害及び住民への防火指導や応急手当の普及等に団活動が移行していく	152	10%
7. 防災コミュニティ(自主防災組織等)と統合していく	98	6%
8. その他	29	2%
9. 無回答	74	5%

その他の意見

・組織自体が形骸化する  
 ・操法大会に力を入れ過ぎていて、仕事、家族に申し訳ない。  
 ・自営はひまじゃない。地域に人がいないのでそれが問題。

・団員が高齢化する。
・消防署並びに消防職員はそれが仕事なので、消防団に何もかも任せたり、団員に負担をかけない様にしてほしい。
・20代～30代があがるとその下がすごく少ない為、上の者の退団が遅くなる。
・消防職員と連携する場が多くなり、活動範囲が広がる。
・操法大会が無ければ団員は増えると思う。
・市役所職員の消防団活動が増える。
・様々な負担が増え、今以上につらくなる。
・新入団員だけでなく、地元から若者が離れる原因となっていく。
・団員減少の中、町内会等の他組織との連携が必要となる。
・消防団員減少による常備消防の負担増。

## 2 2 消防団に対する自分自身のイメージ

・「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると47%であった。
・「悪い」「どちらかといえば悪い」を合わせると27%であった。

問2 2 消防団に対するイメージをどう感じますか。 あなた自身はどう感じますか。

回 答	回答数	回答率
1. 良い	173	11%
2. どちらかといえば良い	561	36%
3. 悪い	144	9%
4. どちらかといえば悪い	284	19%
5. わからない	325	21%
6. 無回答	56	4%

### その他の意見

・有事がなければ不要。有事がない限り悪い。
・消火活動や祭の警護のイメージは良いと思う。
・自主的な部分についてのみ良いと感じる。
・昔ながらの悪いイメージが残っている。
・昔と比べて社会的に厳しい目にさらされているように感じる。
・お酒を飲むだけの集団。・訓練等で家にいなく、飲むことが多い。
・色々な知識を得られる。
・必要な仕事をしていると思う。
・地域の為になっていると思うから。・活動による地域貢献。・市民のために活動している。
・今までなかった付き合いが生まれる。・人とのふれあいの場があるため良いと思う。

・良い部分、悪い部分と両方あるから。 ・良くもあり悪くもある。
・先輩方が意外と優しい。
・関係者以外の反応が悪い。
・理解が深まってきている。
・積極的に地域の行事に参加し、地域の防災に尽力しているため。
・入団当時は面倒→今はいい仲間といい活動。
・出勤、訓練回数が多く、仕事などに支障が出てきて大変だというイメージがある。
・入る前のイメージが悪い。
・災害時に頼られるイメージ。 ・災害時、協力して助け合える。 ・いざという時に頼りになる。
・上下関係が厳しい。拘束時間が長い。活動日数が多い。
・入団すると抜けられなくなる等、若者世代のイメージが悪い。
・生業以外の部分で地域に広く貢献している
・真面目に地域のことを考えている。
・活動の意義は高いが操法の負担が大きすぎる。
・地域を守っている誇り。悪い面としては休日の出勤(行事)が多い。
・地域の防災に頑張っている。 ・地域防災の要である。 ・地域の評価が良い。
・負担も多いが多くの人と知り合いプラスとなる。
・かなり悪い。無理強い感が強い。やめさせてくれない。
・仕事や私生活の支障になる事がある。
・火災、災害時、集団で地域に役に立つ。防災に対して地域に役に立っている。
・同じ地域の仲間が協力し合っている。
・地域の安心安全を守る地域の集団である。
・昔ほど悪くない。
・地域の人との交流の場になっているから。
・消防・水防活動による地域貢献をしているから。
・災害活動の成果があるから。
・地域の人にいいイメージ。
・必要だと思う。高根は他の消防団より負担を軽くなるようにしていただけている。
・存在自体、若い人を地域から遠ざけている要因になっている。
・管轄する区域の防災活動を行っているから。
・活動が団員の犠牲の上に成り立っていると思うから。
・素行が悪いイメージ。災害がないと必要性を感じて貰えない。
・活動はしっかりしているしある程度の知識を得られる。
・地域のために活動しているから。 ・地域防災の要として。 ・地域のために役だっている。
・地域貢献という観点ではとても良い。
・仕事私生活への負担が大きい。
・火災や災害など何かあった時にはやはり必要だから。

## 2 3 消防団に対する周囲からのイメージ

- ・「良い」「どちらかといえば良い」が合わせて41%であった。
- ・「悪い」「どちらかといえば悪い」が合わせて27%であった。

問 2 3 周囲（地域、職場等）からのイメージはどう感じますか。

回 答	回答数	回答率
1. 良い	132	9%
2. どちらかといえば良い	494	32%
3. 悪い	142	9%
4. どちらかといえば悪い	276	18%
5. わからない	440	28%
6. 無回答	59	4%

その他の意見

・職場であまり良いイメージの話を聞かない。
・地域に貢献している。昔ながらのイメージで飲むために活動している。
・職場ではわりと理解して貰えている。・会社では理解があるため。
・災害火災時に頼りになると言われる。・出初式で演奏する話をしたら盛り上がったので。
・悪い意見を周りからあまり聞いたことがないから。
・周りの関係者から良い目で見られない。・理解が得られていないように思える。
・賛否両論であり、理解ある人、理解無い人で両極端である。
・昔のイメージが強く、やんちゃなイメージが抜けない。入団をお願いに行った際、親が断る。
・どうせ飲むだけやろと言われる。そんなことはないのに。
・残業があっても操法大会の為に早退したりしなければならないので。
・操法期間中の残業が出来ないため仕事がたまる。消防団＝常に飲み会をしているイメージ。
・夜や休日出ることが多く、地元の人達からもよく言われぬ。
・団員が勤めていると会社の利益になることがある。
・詰め所で酒を飲まなくなり、地域の活動にも団員がよく参加しているから。
・地域住民の期待も多い。・いざという時は消防団に期待している雰囲気がある。
・消防団を早くやめろと言われる。
・消防団に入ってえらいねと言われる。
・近年大きな災害が多発する中、関心や期待が高まっている。昔のような飲酒ばかりしているというイメージも少なくなってきた。
・税金の無駄遣いという声もある。
・地域の方からは感謝されている面もある一方、仕事関係や他コミュニティからは、お酒をたくさん飲んだりしているイメージも強いと思います。
・消火活動が実際にあると感謝される。
・職場では仕事をしないイメージがつく。

・ご年配の方からは感謝されることが多いが、同世代の人達からは特に何もない。イメージが悪いというより興味がないのではと思う。
・仕事中に抜けられる環境ではなく、同僚やお客に迷惑がかかる。
・消防団について理解はしているが、どちらかと言えばあまり関心がないように感じる。
・団員は消防活動を責任を持って行っているため、地域から評価されている。

## 2 4 消防団として不安に思っていること

・班員の不足と知識・技術の不足を感じている団員が多い。
-----------------------------

問 2 4 あなたが消防団として不安に思っていることは何ですか。(回答は2つ以内)

回答	回答数	回答率
1. 危険である	245	16%
2. 知識・技術が不足している	554	36%
3. 装備が不足している	137	9%
4. 班員が不足している	679	44%
5. その他	87	6%
6. 無回答	117	8%

### その他の意見

・装備等の老朽化。・長靴が弱い。・ポンプ車が古く故障が多くなってきている。
・消防団の火災出動件数が減少し、実際の火事を経験している団員が少なく、実際の火事での仕事ができるか不安を感じている団員が多い。
・火災時の現場の知識不足。
・操法ではなく実際の火事が起きた時にどう動けばよいか分からない。
・仕事がおろそかになる。
・今後は難しくなると思う。
・消防団員を消防署員が大切にしていない。
・15年で退団できると言われて入団して12年ですが退団できる目途が立っていない。
・待遇が悪い。
・退職の時期がわからない、いつまで続けるのか明確でなく早く退職したい
・担い手の確保が難しく、在団期間が長期化しモチベーションが低下していること
・ポンプ庫が狭すぎる。・ポンプ車が旧式化しはじめている。
・意識が低い。・若い人が出動しない。
・若手が知識・技術を習得できていない。・ポンプ操作が分からない。
・人数が減少しており集まらない。
・すぐに出動ができない。
・訓練が充分でできない(出来ていない)

・出てくる人が少ない。
・上になり役が回ってくると休みにくくなること。
・訓練はしていても十分とは言えない気がする。
・実際火事があった場合、訓練通りの活動ができるか。無火災であり続けることはいい事であるが、実戦での経験不足が若い団員が心配。

## 25 消防団応援事業所、岐阜県ありがとね消防団サービスについて

・「利用したことがない」が57%で最も多い。
・「たまに利用する(年に数回)」「利用する(ほぼ毎日)」を合わせると37%であった。

問25 消防団応援事業所、県ありがとね消防団カード等のサービスについて伺います。サービスを利用したことがありますか。

回答	回答数	回答率
1. 利用する(ほぼ毎日)	43	3%
2. たまに利用する(年に数回)	519	34%
3. 利用したことがない	872	57%
4. 知らない	54	3%
5. 無回答	55	3%

## 26 消防団応援事業所、岐阜県ありがとね消防団サービス利用について

・「飲食店」が55%で最も多く、次いで「温泉」が24%であった。
----------------------------------

問26 問25で1「利用する」「たまに利用する」に回答された方にお伺いします。どのようなサービスを利用しましたか。(複数回答)

回答	回答数	割合
1. 飲食店	310	55%
2. 温泉	135	24%
3. 宿泊施設(旅館等)	39	7%
4. 娯楽施設	38	7%
5. 観光施設	5	1%
6. その他	35	6%

その他利用した施設

・クリーニング店 ・洋服量販店 ・商店 ・販売店 ・ショップ ・家電量販店
・スキー場 ・道の駅 ・銀行
・車検 ・マッサージ

## 27 消防団応援事業所、岐阜県ありがとね消防団サービス利用について

・「サービス内容に魅力を感じない」が51%で最も多く、次いで「興味のある業種の事業所が少ない」が29%であった。

問27 問25で 「利用したことがない」「知らない」に回答された方にお伺いします。利用しない、知らない理由はなんですか。（複数回答）

回答	回答数	割合
1. 近くに応援事業所がない	94	11%
2. 興味のある業種の事業所がない	254	29%
3. サービス内容に魅力を感じない	448	51%
4. その他	134	15%

その他の意見

・機会がない。
・消防団員とその家族へのメリットとして弱い。
・どこで使えるかすぐに分からない。
・利用できる事業所を知らない為利用していない。
・そんなに魅力がない。時代が変わってきているので、変えていかなければならない部分があると思います。
・特に外食しないから。
・事業所がわかりにくい。
・利用したいと思っているが忘れてしまう。イメージ向上。
・サービスそのものに興味がない
・サービスより報酬を上げた方がよい。消防団は必要だが本業ではないので待遇を良くしてほしい。

## 28 消防団応援事業所、岐阜県ありがとね消防団サービス利用について

問28 今後、こんなサービスがあれば良いと思う業種や事業所について、ご要望があれば記載ください。

・保育園の優先入園 ・体育館、グラウンドの優先予約。
・飲食店を追加してほしい。 ・飲食の利用割引をもっと高くする。
・コンビニ。
・免許取得に対する補助。
・サービス提供をしている事業所について表示等が分かりにくく、利用後に気付くことが多いので、もっと大きく目立たせてほしいです。
・月ごとに無料の施設などがあつたらいい。
・減税するなど(団員の家族すべて) ・市税の減税
・理髪店等。
・JAの貯金利息アップ。

・スーパーなど食糧品店。
・公共交通機関の割引、高速料金の割引。
・利用できる店にステッカー等を貼ってほしい。
・ガス、灯油、電気、ガソリン。
・市民文化会館、世界文化センターなどの練習室の割引。
・消防団員及び家族はどこの施設も半額。
・タイヤなど車用品などの割引。 ・車両購入や点検や車検費用の減額サービス。 ・車関係。
・ガスト、ジョイフル、家族ドリンク無料サービス。
・スキー場の割引(リフト券)
・家族サービスできる所が増えると理解が深まる。
・タクシー、代行。 ・慰労会の為の格安送迎サービス。
・ボーリング、カラオケ。
・市内のホテルでの入浴割引等。家族も使えるように家族への対応。
・旅先での宿泊サービスの値引き、サービス等強化。
・消防団員ならではの特典(無料)カードがあればいいと思う。
・ホームセンター
・安全靴の割引。 ・消火活動や訓練で使う道具等。
・サービスを受ける為に活動しているわけではなく、特に有りません。
・バローなどのチェーン店。
・消防団員がからだを鍛える為、無料で利用できるトレーニングジム提供があって欲しい。
・居酒屋。
・スポーツショップなど。
・地区内飲食店の割引。飲食店に割引を負担させず、割引分を消防団が店に提供すべき。
・どのビジネスホテルでも使用可能にしてほしい。
・家庭に負担を強いる為、レジャー施設、ショッピングセンター等の家族で利用する施設での優待、また、日常の負担を軽減できる日用品等の割引。
・飲食店の数を増やしてほしい。家族と一緒に利用できると良い。
・子供用品
・食品・雑貨等のサービス。

## 29 高山市消防団協力事業所表示制度について

- ・「制度について知っている」「勤務先が認定を受けている」が合わせて46%であった。
- ・「知らない」は38%であった。

問29 高山市消防団協力事業所表示制度について伺います。(複数回答)

回答	回答数	回答率
1. 制度について知っている	483	31%
2. 勤務先等が認定を受けている	235	15%
3. 知らないなので制度について教えて欲しい	137	9%
4. 知らない	584	38%
5. その他	6	0%
6. 無回答	154	10%

その他の意見

- ・制度そのものがおかしい。会社は何もせず得をするだけ。
- ・会社は知らない。
- ・自営業者にも配慮してほしい。

問30 現在の消防団や、将来にむけての消防団改革等について、お気づきやご意見等がありましたら教えて下さい。

消防団の行事に関する意見

・操法は持ち回りとし、選抜メンバーで全国を目指すべき。年棒の増額。人集めに消防団を利用しない。火災以外は有償など。
・消防操法大会は6月第一に支団大会、6月第三に市大会、8月第一に県大会と大会から大会までが二か月、練習期間も含めると約半年間練習に費やしている班もある。大会の数や大会までの日程を短くするような検討をすると良いのではないか。(団員の負担が大きいと感じる)
・操法大会を2年に1度にしてほしい。・操法大会を少なくしてほしい。・操法大会の負担が大きいです。
・活動時間を早めてほしい。19時から21時。
・とにかく操法大会の負担が大きすぎる。防災や地域のための活動には協力したいが、操法大会には関わりたくない。家族や子供には入団をすすめたくない。
・とにかく操法大会をなくすこと。操法大会はクラブ活動としてやりたい人がやると良い。又は、操法用の班を別に作る。今日のアンケートの集計を公表してほしい。
・団員の確保が難しい中、操法大会など負担がある行事が入団を敬遠する傾向にあると考える。消防の知識や実務経験が必要だと思うが、時代的に考えていかなければと思う。
・操法大会のやり方の見直し。連休等に訓練を入れないでほしい。活動で必要なものは全て本部予算で賄う。実際の活動に必要なない操法大会の練習が強制では人は入らない。

<p>・火災や災害における消防団活動はとても重要だと思います。イメージとして、操法に関しては地域の方からは大変なこととして捉えられています。負担の少ない活動を行っていく必要があると思います。</p>
<p>・出初式の期日の変更→日曜日へ。操法大会のあり方の変更→支団大会まで。</p>
<p>・このままだと団員は集まらない。操法をなくして、その分を各班で教えあうようにすれば多少入ってくるようになると思う。</p>
<p>・消防署の職員を増やすべき。報酬等は必要なく、本職の人間を増やして消防団員を減らす。(新しい人はなかなか入ってこないため)操法大会で勝つための練習を何カ月もやっている。非常にばかげている。</p>
<p>・不安に思っていること、操法大会に出ることを強要されること。操法大会でいい成績を残す事が目標となっており、消防団とはパフォーマンスを見せる人達なのかなと思ってしまう。</p>
<p>・荘川地域のような団員が少なく高齢化が進んでいる団は、地域住民の安心安全に役立つような実践訓練を年3～4回行い、災害時に役立つようにしたい。操法は団のイメージを悪くし消防へ来なくなる悪循環となっている。団の存続に影響を与えていることも把握してほしい。地域柄、行事が多い為、長距離通勤、消防ではなく操法がかなり負担となっている。</p>
<p>・ただアンケートをとるだけではなく、必ず改革をしてほしい。操法大会の出場が団員の減少に伴い、本当に厳しいと思います。高山市としても操法大会のあり方を本気で考えてほしいです。</p>
<p>・操法大会で市大会に出場する班の決め方を統一した方が良い。前年の優勝班が出場するのはおかしいと思う。</p>
<p>・高山市の操法大会に郡時代からも含めて5回、選手として出ました。それに伴う練習については規律訓練やある程度の消防知識を覚えることが出来るので大会自体は悪くはないと思うが、実際の消火活動に際しては、水利や機械操作等、知識不足が多すぎて、火事が起きた時は大変不安に感じます。1年間のうちのほとんどを操法大会に費やしているの、これ以上出役を増やして勉強するのも負担になってしまうので考えものです。操法大会をもっと実利につながるものにしてほしい。</p>
<p>・40歳以上のメンバーで参加し、タイム・動作が・・・というのは分団内の不満も多くあり、出場出来なくなると思う。</p>
<p>・操法大会をやめる。もしくは出役を減らし、実際の火事場で役立つ技能、訓練、研修を。山に囲まれた場所なので、現場の者とも意見つきあわせて、山林火災や様々な状況に使える装備の検討、購入、配慮。</p>
<p>・形骸化した年末夜警の廃止。操法大会を中止し、実践的な訓練を行う。出初式は高山市のみで実施し、分団と本団のみが参加する。</p>
<p>・今後災害が起こることが分かっているので、水を出す機械の使用の訓練が必要で、操法大会の訓練は必要ない。平日の夜、選手以外、ホース巻のための訓練の手伝いはムダです。この時間を使うなら、操法の練習はやめて、全団員が機械を使えるように時間を使った方がいい。とにかく大会で順位を争うための訓練は必要ない。</p>
<p>・年末夜警は年末3日間を年末1日で済ますことができないか。操法大会用消防ポンプは、火災現場で川からの逆水でポンプがこわれるので必要ない。</p>
<p>・実際の災害現場において何の役にも立たない操法大会(練習含む)の改革が必要。現在の操法大会は様々な生活基盤を犠牲にした「祭り」のようなものになっっていない。</p>

<p>・団員が増えない原因として、操法大会にともなう訓練により、知人でもそれを理由に入らないと言う事が何人かに聞いている。</p>
<p>・操法大会の練習がかなり負担となっている。これが原因で入団を拒むケースが多い。大会の縮小、開催回数を減らすなどの変更が必要。</p>
<p>・善意のボランティアとして入団したのに、強制されることが多すぎる。活動が多く、かなり負担である(消防以外の役もいっぱい持っているため)続ける理由がわからない行事が多い。</p>
<p>・訓練の操法大会が今では訓練ではなくなっている。地域全体の活動を考え、消防団員の入団等をもう少し負担を少なくし地域全体で協力する事。</p>
<p>・平均年齢が高くなることによって、仕事、家族(子供)中学生以上になると部活、あるいは塾など子供に使う時間、お金が増え、いろんな意味で負担が増える。消防以外の地域行事、体力的なこともあり、精神的な負担が増える。活動内容が今の時代に合っていない。変える必要がある。</p>
<p>・基本はボランティアだと思いついて参加している。もっと団員を大事にしてほしい。</p>
<p>・訓練等での時間の拘束が長いのに対し、年棒が少なすぎることからボランティアとはいえ厳しい。サラリーマンが多数となっていることから、過度の訓練は見直すべき。</p>
<p>・自分の分団に20代がないので、後10年で分団が成り立つのが不安。操法大会は同じ人が何回も出なければならぬ現状があり、訓練としては必要かもしれないが、合併前のようにはいかないと思う。賛否両論あると思うが、積極的に参加したい分団で実施すべきだと思います。(強制ではなく)</p>
<p>・実際の消火活動には関係のない様な事を競う操法大会は、自分の時間も取られるし、団員減少の根源だと思う。あれがなければ入りたい人は沢山いると思う。</p>
<p>・これまでのように操法大会の練習、毎年5月に毎日ある体制では離れていく。操法大会は2年に1回にするなどの措置が必要だと思う。</p>
<p>・児童等に認知され周辺からの底上げの為にイベントや地域運動会等で操法を見せてあげることは良い事だと思う。</p>
<p>・火事に対しては基礎訓練として操法を通じて学ぶ事が大事だと思いますが、大会となるとどうしても熱が入りすぎ嫌な者に対しては苦痛。また、若い方の入団が減少し、団として高齢化していく中で、昔から続けている操法大会は見直すべき。消防団員が増えないのは、操法の練習、大会が原因で入団しないという方もいることを理解してほしい。</p>

## 待遇に関する意見

<p>・補助や免税など、団員になるメリットが欲しいです。</p>
<p>・公共事業等、消防団員が所属している企業に積極的に依頼するなど、会社の理解を得ることも必要。(団員がいる会社にメリットがある)</p>
<p>・団員もそうですが団員の家族にももっとメリットがあると良い。</p>
<p>・サービスより報酬を上げた方がよい。消防団は必要だが本業ではないので待遇を良くしてほしい。</p>
<p>・団員をやっているメリットがない。</p>

<p>・消防団活動の質を高めるものであれば支給額を増額し、市消防の方針を落とし込むべき。ある程度の基準を設け、実践に応じた評価を行ってほしい。地域ごとの特色、取り組みも勿論大切であるが限度がある。市消防の方針を決めてもらい、市として支援してもらえば、地域から職場からの評価理解をより得られると考える。</p>
<p>・実際活動している消防団員は減税されないでしょうか。報酬等、個人口座振込は賛成出来ません。</p>
<p>・人員確保が難しくなっている。報酬等を上げ、各町内で強制的に入団してもらおうようにしないといけなくなると思う。</p>
<p>・支団運営が非常に厳しいので、高山市からの助成金が必要。</p>
<p>・新入団員確保が困難。団員の高齢化。器具庫が要望通り改築されない。</p>
<p>・報酬のしくみが不透明で分団や支団で扱い方に差異があると思う。明確にしてほしい。</p>
<p>・もっと身近にサービスを活用できるようにして下さい。消防団応援事業所は普段行きません。団員がそれぞれ均等に普段から受けれるサービスの充実を。</p>
<p>・毎年、経費削減等で班の備品購入に対して厳しくなっています。仕事と平行して活動してきている中で、待遇面の見劣りばかり目立ってきている気がします。色々な事情もあり税金も大切に使うのは分かりませんが更なる改善を願います。</p>
<p>・初期消火を行うのは十分やりがいがあるし大切だと思う。その役割を続けるためにも年報酬の削減は避けるべきだったと思う。今後無駄な行事を見直したり、年報の見直し等ないと家庭からの理解が得られなくなり、団員本人での負担が大きくなってしまい、いずれは団は衰退の方向だと思う。何かを変えなければ避けられないと思う。</p>
<p>・年収報酬が個人に入る様ですが良くないと思う。もめ事にもなり、さらに細かくする必要があるのかどうかと思います。現状で良いです。</p>
<p>・操法訓練をしても訓練の日数で切り捨てになったり、会議に出ても手当てが支給されなかったりと、消防団活動(出動)に対して著しく支給額が減っています。予算の中でということであれ、出動してもしなくても支給される年報酬を減らしてでも出動した(時間的拘束)回数に応じて支給していただいた方が、公平性が保たれると思われます。不公平さに気付いた者はどんどん出席しなくなると思います。消防活動の活性化のために是正をお願いします。</p>
<p>・無理に団員を増やして出動できない人を増やすより、確実に活動できる人に十分な報酬を支給してもらう方がいい。</p>

### 訓練に関する意見

<p>・操法訓練はもちろんなんですが、水害に対しての知識訓練もほしい。時間がないかもしれないが、定例等にて本職の人からレクチャー等欲しい。</p>
---

・難しいと思いますが消防団員の活動に対して活動レベル、範囲のボリュームが低いと思う。安全等を考慮してと思うが、活動する限り、もう少しレベルを上げてほしい。
・春秋の訓練の時には火災の想定だけでなく、大規模な地震を想定したものもあると良い。避難所の設置、人探し、倒壊家屋からの救出など。
・現在の訓練内容が適切か、プロの第三者に点検してもらった方がいいと思う。
・実際の火事場では役に立たない規律訓練等は改革すべき。必要ない。操法訓練にしても、火事場では役に立たない所作は改革すべき。安全に火を消す訓練に特化すれば良い。
・消防だけでなく、他災害(飛騨では雪害等)あらゆる状況に対応できるようになるべき。
・訓練等の内容を現行の操法や規律ではなく、機械器具の操作、整備点検乙に重点を置いたものにされた方が良いと思う。また、実際の現場で起こりうる危険や注意点、それを回避、早期発見できるような知識教養を得ることができる訓練を実施。
・班で指導しろという話があるが、入団して数年経つ人がポンプ車の運転すらしたことがなく、ポンプ等の機具に触れたことがない人が多いのがすごく不安です。
・実戦的な訓練をやらないと本番火災で消火できない。(火事が減ったため)可搬ポンプを増やしたらどうか？

### 団員確保に関する意見

・市だけでなく町内会、職場等で消防団員の募集をしてもらい、団員を確保してほしい。団員だけの確保は難しい。
・ポスターや声掛けくらいでは新入団員は入ってくれない。町内の負担を減らすためにもっと考えてほしい。
・公務員は積極的に消防活動に参加するべき。
・新入団の確保を行政でやってほしい。
・消防団未加入の若者に入団したくない理由を聞いてみてはどうでしょうか？
・益々団員の確保が困難になると考えられるので、署の方にも協力していただき、少しでも新規入団者を確保していきたい。市役所の職員が入ってくださるという話は無しになってしまったのかな？
・将来のためにも団員数の確保が第一と思います。もっと地域、町内会、事業所等と協力し合い団員確保を進めた方が良いと思います。また、ベテランと若い力で安全かつスピーディな消防活動が可能となるので、その辺のバランスも大切かと思います。
・団員の確保は、今後班だけの勧誘では限界。形に見えるような制度を作ってもらえるといいのでは。操法についても負担が大き過ぎ。真剣に取り組んで、一人の意見。絶対考え直さないと駄目です。今、支団本部にいる方はいいですが、今後立ち行かなくなると思います。
・地元の退団者の協力があれば、準団員として協力団員としての応援をうける。
・班からラッパ隊を出すように言われているが、班20人に対して2人出せと言われてもラッパへ行く人とそうでない人と公平、平等でない。高山支団の音楽隊のように別組織にして貰いたい。ラッパはラッパで人を募集し、隊を編成してほしい。

## 組織に関する意見

<p>現状の消防団体制であると団員のみ負担がかかる仕組みになってしまっているため、不公平感が強い。高山地区においても地域防災は重要であるので、地域防災コミュニティを確立し負担軽減を図ってほしい。</p>
<p>・少子化に伴い班編成などしていただきたい。</p>
<p>・町内の班では今後益々新入団員の確保は難しくなっていきます。管轄区域内、外でも同じ状態だと思いますので、班の合併を提案します。消防団員ではなく、一般の方にもアンケートをしてみてくださいはどうか。</p>
<p>・人員の確保が厳しくなるので班の統合等。</p>
<p>・高山市に合併したのに、消防だけは支所・地区管理なのになぜなのか不思議でたまらない ・人口の減少により、操法大会への参加は無理</p>
<p>・地域にとって必要な組織であり、存続させなければいけなが、活動内容等は時代に合わせて見直ししなければ、若者の参加は見込めないのではないだろうか…。</p>
<p>・退団する時期が50～60歳くらいになる為、いくら地域のためとはいえ、きつい。退団しても経験者なので活動できるようにしてほしい。</p>
<p>・団員の確保は今後無理な班(支団)があるため、消防活動内容の縮小及び外部への委託等の検討をして頂き、団員が少ない地域への運営内容を必要以外は少なくしてもらいたい。</p>
<p>・現状の団活動は団員の誇りと使命感に頼っている。このままでは立ち行かなくなります。小中学生のうちから消防団活動との関わりを持たせることが、将来の団員確保につながると思う。消防団を補完する自主防災組織について、組織率は高いが有事に際して機能すると思えない。住民意識の醸成も含め、消防署がイニシアチブをとるべきと思う。操法訓練の負担が大きく、久々野支団の大会もポンプ庫可搬を隔年で開催すればよいと思う。アンケートの結果は公開すべきと考えます。</p>
<p>・過疎化地区なので、自分達でできることはやるのは当然。なので、これ以上の負担は組織の衰退化を招くと思う。現状でいいと思う。</p>
<p>・上宝支団は、上宝地区と奥飛騨地区の2分団制で良いと思う。</p>
<p>・団員確保、団員減少は大きな問題だと思う。OBなどの組織を作るなり班と班の合併、地元管轄内で職に就く人にはご褒美お金をあげるなど、あったら良いと思う。根本的にメリットがないと活動しないだろうと思う。</p>
<p>その他の意見</p>
<p>・事業所認定に関し、団員が8割以上いるとかの規定を作るとかしないと(認識が低い)優遇されるのはどうかと思う</p>
<p>・地域の理解に支えられている部分大きいですが、今後は理解が難しくなると思う。国や自治体として支えることを考えないと、あるだけの組織になると思う。経験者が少なくなると地域では支えられない。</p>
<p>・消防団の大切さ等の教育を小さい子供から行った方が良いのではないかと。事業所から特別消防団員のような人員を出してもらった制度を作ったら見る目も立場も変わってくるかも。人も増える。</p>
<p>・これから免許を取る子がポンプ車の運転をできない。</p>
<p>・そもそもなぜ消防団改革が必要なのか？将来的な課題が何なのかの議論が足りていない ・上層部(すぐ辞めるような人たち)の意見ばかりに耳をかさず、もっと若手(これからがんばる人たち)の意見を踏まえて、組織全体の在り方を考えるべき</p>

<p>・地域に感謝されれば問題ない。地域の負担になれば大問題。</p>
<p>・今後、団員確保と活動が無理を生じる時が考えている以上に早期となり、団員数は確保してるが、当日現場等に出動してくれる団員は減となるので、他の考え方で準備が必要と思う。</p>
<p>・高山消防団で支団により退職する年齢がバラバラで不公平である。消防署があるのに消防団はあまり必要でないと思う。本業の仕事の負担になる。</p>
<p>・いつ退団できるか分からない。団員の不足や町内の役等も負担になっている中で、定年等も考えてほしい。家庭の理解が得られていない。非常に困る。</p>
<p>・団員の確保が難しいなど、各々の事情に考慮した制度を設けてほしい。支団全体での訓練時の段取りが悪くて、時間を浪費しているだけ。遠方の班への配慮が手厚くしてほしい。長距離をマイカーで出動など。</p>
<p>・気持ちよく退団できる様にしてほしい。(退団できない状況にある)消防署との立位置。操法大会。アンケートはよいが、どうするのか、どうしたいのか、どうなのか、公表してほしい。</p>
<p>・団員の中での温度差があり、一生懸命やっている団員が面白くない。団に入っているだけで何もしない団員と頑張っている団員に差をつけてほしい。</p>
<p>・退団規則が曖昧で、いつまで消防団に入っていなければ「ならないのか不安である。市内中心の団員を増やしてほしい。人口割合に対して入団している人が少ない。</p>
<p>・学校教育の中で、消防団や地域防災の大切さを教えてほしい。地域や町内会からも若者に呼びかけてもらえたらありがたい。</p>
<p>・若い頃は消防団は火消の主役であり花形であったが、現在消防署が各地区に配置され、職として活動されています。その為消防団は脇役となり、関心も今一歩となり、新入団員もそれ程使命感をもっていないので、メインは消防職員にまかせ、時代に合ったワンランク下げた消防活動にし、リスクを下げればと思います。</p>
<p>・自分も行けることが少ないが、全然来れていない人はなるべく早く退団させた方がよい。</p>
<p>・地域を守る為には消防団はこれからも必要であり、同じ地区に住んでいる人同士のつながりを深める為にも有効であると思います。その一方で、団体活動を苦手としたり、プライベートな時間を削られることを嫌う若者も増えています。時代に合った消防活動の提案が必要かと思います。</p>
<p>・現在の団員の方々の仕事や業務内容が、多種多様化してきているので、消防団活動においても昔ながらのやり方を維持する車が困難になってきているので、今に合った活動方法を検討して貰えれば、団員の数や出席人数も変わってくると思う。</p>
<p>・辞める年齢を決めてほしい。</p>
<p>・人員不足により、地域により退団の条件がちがすぎる。</p>
<p>・若い人達が災害や事故に対してどこか他人事と思っているように思える。消防団活動が自分や大切な人の為に重要なものだという事をアピールして、多くの若者に興味を持って頂きたい。又、操法大会などの行事が仕事をしながら活動していく上で、身体的、精神的にも負担になっていると思う。</p>
<p>・人材確保の為に幽霊団員が多い。(経費の無駄)地域にあった活動体制が必要。退団届は受理されない。</p>
<p>・平日の昼間、出動になった場合、出動できる人が少ないため大変だと思います。</p>
<p>・もっと町民(子供達)との交流があれば、消防団ってこんな活動をしているんだなと認知してもらえるのではないかと思います。そこで良いイメージをもていただければ入団希望も増えませんか。行進パレードなんてどうせ誰も見に来ないので消防車に乗せるとか、車もたくさんあるし。</p>

・しばらくは現状のままでやっていくしかない。10年後、団員減少することは分かりきっていることで、やれることはだいぶ限られると思うので unnecessaryなものは省いていくしかないと思う。やれることをしぼっていく。

・最近の消防団員は勤務地が遠い。昼間は会社から出てこれない等で火災時に出てこれない人も多いので、地域の自主防災組織との連携をもっとした方がよいかと思います。

・消防団というよりは、この地域に若い子達が残ってくれるような生活環境を整える。県外への流出を極力抑えないと、ただでさえ少子化なところへ人材が流出したら、結局入団する人がいないことになる。

## 2. 高山市消防団及び活動について（市民アンケート）

標本の構成（市民アンケート）

		件 数(件)	構成比(%)
性 別	男	273	64%
	女	153	36%
	無回答	1	0%
年 齢	10代	1	0%
	20代	24	6%
	30代	71	16%
	40代	128	30%
	50代	114	27%
	60代	79	18%
	70代以上	7	2%
	無回答	3	1%
地 域	高山地域	222	52%
	丹生川地域	30	7%
	清見地域	23	5%
	荘川地域	18	4%
	一之宮地域	13	3%
	久々野地域	26	6%
	朝日地域	24	6%
	高根地域	6	2%
	国府地域	35	8%
	上宝地域	29	7%
	無回答	1	0%
	職 業	農林畜産業	20
自営業		40	9%
会社員		114	27%
公務員		117	27%
団体職員		12	3%
会社役員		15	4%
派遣社員		2	0%
パート		57	14%
家事手伝い		14	3%
学生		3	1%
無職		18	4%
その他の職業		13	3%
無回答		2	0%

この報告書における割合の算出は次の計算式から算出している。  
 回答率＝回答数/標本（427）

## 1 ボランティアや地域貢献への関心について

・「はい」が74%で最も多い。

問1 あなたは、ボランティアをして地域貢献をしたり、災害時に人を助けたいと思いますか。

回 答	回答数	回答率
1. はい	314	74%
2. いいえ	22	5%
3. 分からない	89	21%
4. 無回答	2	0%

## 2 消防団の認知度について

・「良く知っている」と「知っている」を合わせると95%であった。

問2 あなたは消防団という組織をご存知ですか。

回 答	回答数	回答率
1. 良く知っている	214	50%
2. 知っている	191	45%
3. 知らない	19	4%
4. その他	3	1%
5. 無回答	0	0%

その他の意見

・存在は知ってるが、詳しくは知らない。

・名前は知っているが活動はわからない

### 3 消防団認知度の内容について

・「消防団活動全般」が26%で最も多く、次いで「災害時の活動」が25%であった。

問3 問2で「良く知っている」「知っている」と回答された方に伺います。消防団について知っている内容についてあてはまるものを選んでください。(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 消防団活動全般	300	70%
2. 災害時の活動内容	286	67%
3. 平常時の活動内容	221	52%
4. 消防団員への手当(待遇)	143	33%
5. 非常勤公務員(活動時)	149	35%
6. その他	24	5%
7. 無回答	27	6%

#### その他の意見

・知っていると言っても大まかなこと ・存在自体は知っているが、活動の詳細は知らない。

・消防団という名前を知っているだけです。 ・組織がある事は知っているが、具体的な活動までは知らない

・各戸で協力費を出している ・大体は知っていると思うが知らない事もあるかも。

・夜間の防火サイレン、出初式の練習がある、地域の防災訓練

### 4 消防団活動歴、家族の消防団活動歴について

・「現在、消防団員である」「過去に消防団員であった」を合わせると31%であった。

・「活動したことがない」は43%であった。

問4 あなたは、消防団員として活動したことがありますか。または、あなたの家族が消防団に入団したことがありますか。(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 現在、消防団員である	48	11%
2. 過去に消防団員であった	89	21%
3. 家族が消防団員である(消防団員であった)	121	28%
4. 活動したことはない	195	46%
5. 無回答	1	0%

## 5 消防団に対する興味について

- ・「興味がある」が34%であった。
- ・「興味がない」は25%であった。

問5 消防団に興味はありますか。

回 答	回答数	回答率
1. 興味がある	147	34%
2. 興味がない	105	25%
3. 分からない	170	40%
4. 無回答	5	1%

## 6 消防団への入団説明や体験入団について

- ・「参加したい」「参加したくない」が22%で同数であった。
- ・「わからない」は29%で最も多い。

問6 問5で「興味がある」と回答された方に伺います。入団説明会や体験入団があれば参加したいと思いますか。

回 答	回答数	割合
1. 参加したい	44	30%
2. 参加したくない	44	30%
3. 分からない	59	40%

## 7 消防団に興味がない、参加したくないのご意見について

問7 問5で「興味がない」問6で「参加したくない」と回答された方に伺います。興味がない、参加したくない、の理由は。ご自由に記載ください。

仕事、家庭、休日参加など
・仕事が忙しいから ・仕事を休むことが難しい
・災害時の活動は、職務を優先するため
・休日または平日に出勤できないから ・夜警等出勤時間の拘束が嫌だから
・毎日の生活で精一杯であるから ・活動頻度が多く大変そう ・負担が大きそう
・仕事、家事、子育てで精いっぱい
・今は仕事に従事しており休日もままならない為 ・仕事が不規則な為、参加出来ない

### 年齢、性別、体力的なこと

- ・年が多いので ・年齢が60過ぎと女性だから ・年齢的に体力がなく何も出来ない
- ・年齢的にも無理です
- ・参加したいけど年齢が ・年齢的に負担が大きい など

### 操法訓練、大会など

- ・大会で行なっていることがよくわからない。実際火事の現場では役に立たないような気がします。
- ・練習等活動が多い ・操法活動が苦痛、大会廃止又は恒久的出場辞退を希望 ・操法大会の訓練が大変と聞きます
- ・操法大会が大迷惑だから、今すぐにでも辞めたい ・訓練や大会などの練習が生活を大変にするから
- ・操法大会に向けての負担があまりにも大きすぎる ・消防団の大会などの活動が、足かせになっているのでは
- ・消防団といえば、操法という印象が強い、家族等を犠牲にしてまで操法活動を行う必要性が全く感じられない
- ・県大会に出るのが目的みたいになっている

### 危険な活動、イメージ悪いなど

- ・非常時危険を伴う、帰宅時間が遅くなる、拘束時間が長く多い、飲み会や旅行時の風紀が悪そうなイメージがある
- ・主旨は理解しているが、実際の組織が封建的で即していない ・人間関係、会合(飲み会)が大変であるとよく聞く
- ・メリットがない上に忙しい。人からの印象も昔からのままで良いと思われてない ・軍隊みたい、酒ばかり飲んでいる
- ・ざっくりとしか理解していないので、構成や仕組みが良くわからない ・団員にメリットが少なく残された家族も大変すぎる
- ・団員になると大変そうだから ・遅くに帰って来るし、飲んで来ることが多く、イメージが悪い

### その他の意見

- ・男性にお願いしたい ・自分には関係ないものだといつも思っていました
- ・若い人に消防団員を積極的にやって欲しい
- ・地域に対する貢献という意味では素晴らしいし、団員である夫を誇りに思います 団員達への手厚い待遇を希望します
- ・市の職員がもっと入団し活動している所を市民に見せれば印象が良くなると思う

## 8 消防団への入団について

・「はい」の17%に対して、「いいえ」が46%であった。

問8 友達、あるいは同世代の仲間もしくは家族が消防団に入るなら(入っていれば)自分もやろうと思いますか。

回 答	回答数	回答率
1. はい	74	17%
2. いいえ	198	47%
3. 分からない	138	32%
4. 無回答	17	4%

## 9 消防団加入促進対策について

・「報酬、手当の増額等、処遇を改善する」が57%で最も多い。

・「活動や訓練回数を減らし、負担を軽くする」「事業所に団活動への理解を求めるなど、サラリーマンの団員でも活動に参加し易くする」が共に52%であった。

問9 消防団員減少傾向が続いていますが、加入者が増加するような魅力ある消防団にするためにはどのようにしたらよいと思いますか。(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 報酬、手当の増額等、処遇を改善する	244	57%
2. 活動や訓練回数を減らし、負担を軽くする	223	52%
3. 事業所に団活動への理解を求めるなど、サラリーマンの団員でも活動に参加し易くする	222	52%
4. 消防団員を雇用する事業所などに優遇措置を行う	175	41%
5. 消防団主催のイベントをする	28	7%
6. 女性団員等を増やし、従来のイメージを変える	80	19%
7. 地域住民への消防団活動の理解や認知度を高める	168	39%
8. その他	32	7%
9. 無回答	10	2%

### その他の意見

・従来のイメージを変える ・地域の若者の集う場として認知する ・公務員の仕事である

・消防団を廃止して町内会の自主防災組織とする。時代が変わっています

・地域就職が少ない、子供が少ないことがあり、根本からの見直しが必要と思います

・もっと宣伝していく(SNSの活用等)
・様々なスタイルで働く人たちが広くボランティアとして関われる自由度の高い組織に作り直す必要がある
・入団できない人、時間が合わない人への対応を考える
・大学生の活動推進
・強制的な訓練など、現代の若者に合った形に変えてかなければ団員は増えないように思う。
・子供を巻き込んだイベント、訓練、人員募集など危険な事はできなくても、地域活動など子供もできる事は多いのでは
・高山祭など、特別な日に消防団員の為の特別席を設けたり、感謝の心を皆さんにみえるようにしては
・年間活動内容を必要性や意味がわかるように明確にする

## 10 消防団活動への評価について

<p>・「大きく貢献しており必要不可欠である」「まあまあ貢献しており必要である」を合わせると85%であった。</p> <p>・「あまり必要の無い組織である」は4%であった。</p>
--

問10 あなたは消防団の活動をどのように評価されますか。

回 答	回答数	回答率
1. 大きく貢献しており必要不可欠である	252	60%
2. まあまあ貢献しており必要である	112	26%
3. あまり必要のない組織である	18	4%
4. よくわからない	40	9%
5. 無回答	5	1%

## 11 消防団に望む活動(平常時)について

- ・「.消火活動(消防署の消火活動の補助を含む)」が81%と最も多い。
- ・「行方不明者の搜索活動」も57%であった。

問11 あなたが消防団に望む活動は何ですか。【平常時の活動】(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 消火活動(消防署の消火活動の補助を含む)	347	81%
2. 市民等に対する消防訓練等の指導	166	39%
3. 行方不明者の搜索活動	243	57%
4. 一人暮らしの高齢者や高齢者世帯訪問による防火指導	171	40%
5. 市民等に対する応急手当の普及指導	95	22%
6. 地域行事(お祭りなど)での警備活動	90	21%
7. 火災予防活動	197	46%
8. その他	18	4%
9. 無回答	13	3%

その他の意見

・大規模災害時等のリーダーシップ

・住民を交えての災害避難訓練

・どの活動も大切だと思います 市民一人一人が意識できるとよい事だと思います

## 12 消防団に望む活動(災害時)について

・「住民の救出、救護活動」「災害の状況、避難者等の情報収集」が60%を超えており、「高齢者、障がい者等に対する避難援助」「消火活動」も50%を超えている。

問12 あなたが消防団に望む活動は何ですか。【大規模災害時(地震、台風など)】  
(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 災害の状況、避難者等の情報収集	275	64%
2. 住民の救出、救護活動	286	67%
3. 災害支援物品や食糧等物品の調達	158	37%
4. 交通手段の確保、交通整理(道路復旧等)	134	31%
5. 町内への防犯パトロール、啓発活動	208	49%
6. 避難所の運営、補助	156	37%
7. 消火活動	232	54%
8. 高齢者、障がい者等に対する避難援助	236	55%
9. その他	12	3%
10.無回答	12	3%

その他の意見

・その時々出来る事で良い(無理しないで)

・災害時に何もかもで大変な事になるでしょうが、できる範囲で頑張ってもらいたいです

・どの活動も大切だと思います。市民一人一人が意識できるとよい事だと思います

### 13 消防団に対するイメージについて

- ・「地域のために頑張っている」が78%で最も多い。
- ・「厳しい(訓練等)」「行事が多い」「忙しいそう」がそれぞれ約30%であった。

問13 消防団に対してどのようなイメージを持っていますか。(複数回答)

回 答	回答数	回答率
1. 地域のために頑張っている	331	78%
2. 厳しい(訓練等)	127	30%
3. 古くさい	58	14%
4. 行事が多い	119	28%
5. 忙しそう	119	28%
6. 体力がいる	92	22%
7. 頼りになる	115	27%
8. その他	15	4%
9. 無回答	8	2%

その他の意見

- ・何が社会貢献かわかっていない
- ・あまり活動しているようには見えない
- ・訓練後飲酒している(酒を飲む)

## 14 消防団に対するご意見について

問14 消防団に意見があれば、自由に記入してください。

### 消防団の行事に関する意見

<p>・平日の夜の訓練は団員に対しては大きな負担ではないかと思う。また事業所においても仕事の段取りなどをして配慮していかななくてはならないことなので、理解と補償の両面+待遇面について十分なものにしていく必要がある。ボランティア的部分の多いままにしましては集まらない気がする。</p>
<p>・高山地域以外は消防団活動が忙しすぎるので、負担を軽くすることを願う。大会の訓練はやりすぎ。</p>
<p>・以前の消防団よりは今の消防団の方々は活動が少ないと思います。若い人たちがいるのもっと活躍してほしい。</p>
<p>・形骸化している、年末夜警の廃止。出初め式は高山市内のみで開催し、各支団、あるいは分団のみが参加し、班員は参加しなくても良い事にする。操法大会の練習期間が地域により様々であり、長い所は半年前から練習をしている。よって各支団とも共通の練習期限を（二週間程度）設け、団員の負担軽減に努める。</p>
<p>・入団している方の話で、酒を飲む事が多く、旅行もあるとのこと 酒も旅行も不要と思われる。</p>
<p>・組織の中での上下関係（一般の人にはわかりにくい）に親しみを感じない。やっている人は偉いという風習から人間関係が面倒だと思う。「〇〇長が言ってるから」「〇〇長の飲み会は断れない」</p>
<p>・平日夜遅くまでの活動が多いのはいかなものか？家庭を大事にしてからの地域活動ではないのか？</p>
<p>・今の時代にあった事をやらなければ、いずれ誰もやらなくなると思います、どうしてもやらしたいのであれば、条件をつけ地域条例で定めればよいと思います</p>
<p>・操法大会の訓練があまりにも大変すぎる。犠牲にする事が多すぎて、若い人は消防団には入らないと思う。消防団による啓蒙活動や消火活動、災害時の復旧活動など地域のための活動は特に過疎地域では必要不可欠だと思うが、操法大会については必要性を感じない。定期的な講習会や訓練で充分だと思う。</p>
<p>・訓練よりお酒を飲むことが多い。団結を高めるのは必要だが、家族のことも考慮して、訓練をしたら早めに帰宅することも考えてほしい。地域によってはそうしているところもあるというが、まだまだ、消防イコールお酒というところも少なくない。そういう風潮を変えていかなければならないと思う。</p>
<p>・訓練や見回り後のポンプ庫での飲み会は全面的に禁止にした方が良い。この飲みが大変で噂が噂を呼び入らない、入りたくない人は自分の周りに沢山いる。訓練や見回り後は自由に飲んでも帰ってもいいと言っても結局は残らざる得ない環境があるし、飲酒運転の誘因になる。断固とした本署からの指示が必要と考える。飲み会は別に企画してやるべき！新年会等</p>

<p>・消防団は家をあけることが多く、女性からみたら、嫌な活動になっています。飲み会などやらないようにしてほしい。家庭内では不満がたまり、消防活動に反対するので、減少しているのも確かです</p>
<p>・操法大会の為に冬場から練習があり家族を犠牲にしていると思う。操法は大切ではあるが、大会ではなく訓練として実施し、その他の実災害に備えた訓練を充実した方がいいのではと思います。</p>
<p>・地域の若者で、消防団に入らない人がいる。私の家の家族は他の地域から来ていて消防団員でがんばっているのですが、昔からこの地域にすんでいる人が活動をしていないのは納得がいかない。訓練などで家をあけることも多く、家族にも負担がかかっています。年齢を決めて、全員参加にして、大会や、行事の負担を減らしてほしい。人とかかわるのが苦手、入りたくないなどの理由で消防団に入らない人はどうかと思います。奉仕活動なら平等にみんなが力をあわせてやるべきだと思います。家庭内で夫と消防の事で言い合いになるのがすごく嫌です。</p>
<p>・少なくなる理由は明らかです。操法は本番の為に大事だと思います。しかし、練習に仕事や家族の負担が酷いです。どうか見直して下さい。切実に思います。火事になったら助けに行くのは当たり前ですが、操法の練習の過剰。飲み会なんてはつきりいらなないです。車庫で団結する為に反省して呑んで語るくらいが一番かと。ただ、生活していく中での過剰負担の解決をお願いしたいです。</p>
<p>・消防団と言えば操法訓練のイメージが強いことが状況を悪くしている。高齢者や災害弱者の支援などソフト面での役割を強調することで必ずしも若くて体力のある人のみが対象である訳ではないことをPRすべき。併せて活動の枠組みや内容についても見直しをしなければいずれ誰もやらなくなると思う。私も加入することにはやぶさかではありませんが、このアンケートの前書き部分に「これまで同様に活動を継続させる必要が有る」となんら見直しされるつもりがないのであれば加入することは無いと思います。</p>
<p>・どんな活動しているのかわからない！操法だけに力をいれてあとは飲んでというイメージしかないです。</p>
<p>・操法訓練が大会の為だけの訓練に成っている。年末夜警が長過ぎる。昔と違い火も安全に使え、使用頻度も年末だからといって多いとは思えない。</p>
<p>・操法の大会も大切だと思うが、重点を置きすぎている。</p>
<p>・とにかく、メリットがないと、やりたい人はいないと思う。入るか入らないかで、地域でいろいろ言われてしまっている人もいと何のためなのかわからない。操法は意味があるのか？操法訓練のために、1ヶ月以上夜家をあげられるのは、子育て世代には、きつすぎる。家庭を犠牲にして他人を助ける意味があるのか？飲み会禁止になったはずなのに、飲んでる地区もある。徹底して、帰るようにしてほしい。</p>
<p>・操法大会の練習など、行事が多すぎて、大きな負担になっていて、仕事に影響が出ている。また、団員の少ない支団は、50歳を越えても、退団できずにいる。この状況で入団しろと言っても無理な話しである。消防団など、面倒な付き合いをしたくないから地元に戻ってこない若者もいることから、大局に消防団のあり方を見直すことは急務と考えます。</p>

<p>・ 広報や車に貼ってあるシールで見かけるが、市の職員は、入団し活動しているのか？初期消火や補助的なことなどの活動は大切ですが、もう古いやり方、既存の仕方では、若い方が高山を離れるし移住者も入ってこないように感じる。ますます同じ人に負担や役ばかり回ってくるし、もう限界。地域再生どころか、地域消滅に拍車を掛けている原因の一つ。命を懸けた大会はどうにかしないといけないし、毎晩、訓練があると家族や会社、仕事に負担がすごく掛かる。このようなアンケートは、初めてなので感心しました。</p>
<p>・ 操法の必要性が理解できない。大切だとは思いますが、イメージが悪い。仕組みが知りたい。優先順位の考え方は各個人差が有るとは思うが、家族より市民の安全を確保しようという優先順位が正しいのか疑問は有る。</p>
<p>・ 操法大会の際、しっかりと採点を公表すべき何のために時間をかけて操法の練習をしているか意味がない。どこが悪かったのか知るため、また県大会は公表しているのになぜ市大会は点数を公表しないのかをはっきりとしてほしい。出来ないなら大会自体意味がない</p>
<p>・ 操法大会をやめるべき。操法大会(毎晩の練習)が原因で団員間でも不満の意見が多い。仕事が終わって、毎晩の練習でたまの休みも返上で練習。家族の理解が得られないのは必然。早期にやめるべき。士気が下がる原因でもある。今の時代、操法大会に価値を見出せない。</p>
<p>・ とにかく操法というイベントを見直していただきたい。未入団の者は操法があるから入団したくないという意見が多数。また、若い者でも地元で働きたいが、消防団（操法）があるから帰りたくないという意見が多数。</p>
<p>・ 家族を巻き込んで、操法大会に振り回されている。この状態を続ける限り、新規団員の確保は困難。団員確保を本気で考えるなら、条例等で年齢枠を決めて入団を義務化すべき。</p>
<p>・ 独特な世界観がある 特に操法大会は古い体質だと感じます 技術の向上は必要だが競技する必要はないと思う</p>
<p>・ 消防団は素晴らしいし必要と思うが、操法訓練等かなりの期間やっているが、大変すぎと思う。それで減っているのではないか？</p>
<p>・ 六月に操法大会があるので団員の皆様が朝夕と練習して仕事に行ってみえるので少し気の毒だなあと思います。 皆々様いつもご苦労様です。救命講習ありがとうございました。役に立っています。</p>
<p>・ 操法大会のイメージが強く、互助であるという意識が少ないからかな？入団が少ないのは</p>
<p>・ 普段から市民のために活動していただき、ありがたく思っています。団員の減少原因は、操法大会訓練、それに伴う飲み会ですね。仕事が終わってから、大会が近くなれば毎日訓練はきつい。酒は好きではないが付き合いで飲みたくない酒を飲むのが辛いとよく聞きます。時代が変わっているので、昔のようなやり方では、若手はついてきません。根本的な改革が必要と考えます。古株のお偉いさんが上にいる限り無理とは思いますが。</p>
<p>・ 操法大会の練習は若い方・家族には理解し難い。出初式・夜景・消火活動など大変感謝しています。団員の方の負担が少しでも軽くなることをお願いします。</p>

<p>・ 操法大会に抵抗があるようだ。他の支団では12月～6月と練習している所があり、半年も練習で縛られるイメージが強い。</p>
<p>・ 操法訓練よりもハイテク化する機材、車両の操作訓練や消火活動、救護活動の実務訓練</p>
<p>・ 操法大会という迷惑な行事をやめてくれたら、消防団員を続けても良い</p>
<p>・ 操法大会が自分、家族を含め大変である。練習は2月から6月までと長く、4月から6月までは、ほぼ毎日強制的に出なくてはいけない。操法大会はやめてほしい。やめたくても、団員不足を理由でやめられない。分団長を勤めた後も、本部に所属させられ、やめられない。退団が出来る見通しが見えない。若い団員がかわいそう。負担が大きすぎる。消防団に対しての責任感で団員をしているのではなく、地域性で団員になっているだけだと思う。</p>
<p>・ 操法大会は見直すべきである（負担が大きい）。無駄な行事を減らし、時間を削除すべき</p>

### 待遇に関する意見

<p>・ 報酬手当があることを知らなかった、分かりやすくすれば若い方も増えるのかもしれないと思いました。父がやっていたし、地域でも集まって活動されている所を見かけ、良いイメージを持っています。</p>
<p>・ 市民税や、家族、家計に対してもっと優遇されると非常にありがたいかと。割引などを行なっているお店もあるが、もっと増えて欲しいし、もっとわかりやすく表示されるとよい。</p>
<p>・ 現在、支援制度があるが団員または、その家族が利用しているのか？はたして、その支援が適切なのか？支援制度が出来て、5年以上経過していると思うが、一般市民にアンケートするより、団員または、家族のかたに、アンケートして具現化して欲しい！消防団！頑張れ！</p>
<p>・ 家族サービスにつながる魅力的な特典が必要。同時に強い気概（消防精神）を培うことも必要。消防の可能性は広く大きい、望むことの設問にあることを要望があるからと言って全部押しつけることは反対。署や地域が主体的に行うべきことが多くある。団員であるには実際には年齢的なものもある。そういった人には答えにくい設問のアンケート。未記入があっても送信できるとよかった。</p>
<p>・ 皆さん頑張っていると思います。もう少し待遇を良くしてあげてください。</p>
<p>・ 金銭報酬増額なら、団員としたら嬉しいと思うけど、何かソフト面での優遇措置があればいいのでは。PTA や町内会の役員免除とか。</p>

・団員ですが、入団当時は42歳を定年と言われましたが、なし崩し的に50歳を目安となり、人員が足りないからと定年が無くなると言われています。また、出動手当も満額出ていない現実もあります。操法大会の訓練や各種巡回での出役時の手当を手厚くして下さい。

## その他の消防団に関する意見

・活動について地域住民に啓蒙していただければもっと協力できたり、身近な活動の手伝いも出来ると思う。日常の活動が余り知られていない気がする。

・出入り自由の消防団サポートサークルを立ち上げ、大規模災害時に、まず自分で衣食住を確保し、余力で他の人の手助けをできるような技術や知力を交換し合い又指導もお願いしたい。こちらこそありがとうございます。

・消防団の活動を詳しくは知らないのですが、現在は昔と違い各地域に消防署がありあまり必要のない団体ではないのかな？と思う。若者が減ってますが消防団が嫌で高山（地元）へは戻りたくないという意見も聞きます。今必要のある団体とわかれば参加してみたいと思う。操法は必要なのか？

・大変な仕事だと思いますが、多くの方は信頼している集団として考えておられると思います。一番は仕事との両立が大変そうなのでその辺り周りの人たちの理解が必要なのでは？と思います。頑張ってください。

・事業所の優遇だけ受けて団活動がやりにくい（活動に出られない）等あると聞いている。地域をあげて活動をバックアップできたらと思う。今は団活動が不透明（何をやっているか地域の人からわからない）なので、PR出来る事を何かやって理解して貰う機会を作ると良い。

・高山市消防団とは？地域の方に詳しくわかるように、各地区ごとに説明会を開いてほしいと思います。

・高山地域以外では勤務先が地元でない場合があるので、昼間の火災等は多くの消防団員は活動できないと思う。OB等の活用が必至。

・仕事が遅くなりなかなか活動に参加できない息子が難点です。理解ある職場であることが大事です。

・消防団活動は他人事ではなく、災害時等において非常に大切な役割りを担っていると思います。市民の方は高山があまり大きな災害に見舞われないため、団活動を重要視しないように感じますがいざという時、真っ先に頼りにするのは消防団の方です。（地域によっては団の方が早く駆けつけてくれるので）今後気象状況の変化や地震が心配される中、高山市として消防団の組織を強化して万全に備えていただきたいと願います。

・サラリーマンにはなかなか参加しづらいと思います。夫は入団時は内勤でしたので時間の融通もきき、参加できていましたが、つい先日外勤の営業へと転属しました。夜の訓練や集まりにはなかなか行けないようです。

・地域住民から必要とされる存在にならなければならない。そのため、常日頃から地域活動や広報につとめ、知ってもらふ事が大切である。団員報酬も、一律とし金額を上げ、幹部の会合等には、別に手当を支給するなど、見直しされたい。

<p>・過疎化により統廃合が必要</p>
<p>・旧高山市内とそれ以外では貢献度が違う様におもいます。</p>
<p>・いつも地域に貢献してくださってありがとうございます。消防団は必要だとは思いますが、身近な消防団を見ている限り、夫が消防団に参加する事を心から賛成しようとは思えません。ごめんなさい。精神的に無理がなく参加できるように根本から改善してくれたら、心から頑張っって！って言えるのになと思います。</p>
<p>・火災の際、消防団がない場合、どうなるのか、その代替をどうするのかを検証し、その重要性を再確認していただきたい。</p>
<p>・このようなアンケートをされることは大変結構だと思いますが、時期は遅すぎたと思います。このアンケートの結果から次のアクションに移るまでどの位時間がかかるのでしょうか？過疎地では親子で消防団員という人達もみえます。10年位前は珍しい話でしたが最近ではよく聞くようになりました。このままでは、高齢化が進む一方なので早急な対応をお願いします。消防団員の住民税減税を行えばサラリーマンの消防団員は増やせると思います。事業税では、団員本人にとって全く意味がありません。</p>
<p>・時代にあった消防団組織が見直す事も必要だとおもう。</p>
<p>・20～40才までの体力のある人を勧誘する必要がある。そのためのPRが大切である。</p>
<p>・処遇が良くない上に、消防大会の訓練が大変だと聞いている。これでは人材確保は非常に難しい。組織の根本的な改革が必要ではないか。</p>
<p>・市にとって非常に大切な団体であることから、市民として、応援したいと思います。消防団の皆さんは家庭もありながらの活動に頭が下がります。</p>
<p>・地域のために頑張っていて、本当に感謝しています。これからも、よろしく願います。</p>
<p>・家族と職場の理解が不可欠です！</p>
<p>・少なくとも在籍している団員さんは皆平等に行事等、活動に参加することを願います。（幽霊団員をなくす）</p>
<p>・今の時代はお金をかけなくても頭やスマホさえ使えばいろいろとできることはたくさんあります。もちろん男女平等なので、女性の参加も進めるべきだと思います。消防署員という公務員がいるのですから、その辺りをもっと活用して 普段から火災を出さないという啓蒙活動や高山地区を全禁煙にして火災を出す要因をすべて潰してゆくというのが世界的な流れでしょう。高山市には危機管理課などありますが、災害予告メールの発信をするだけでなく、災害そのものを予防することにもっと注力する活動をする方が コストパフォーマンスの良い結果をもたらすと思います。高山市役所の職員が全員まず市民への奉仕として、最低限消防団に必ず入るということは絶対だと思います。もちろん 退職してからも高山市へ奉仕し続けることも同じように大切だと思います。最後に、このアンケートの結果を是非、高山市のホームページや広報に掲載し、高山市民の今の声を汲み取っていただいて是非有効に活用していただければと思います。</p>

<p>・消防団員の活動に敬意を表します。報酬等の待遇改善が必要と思います。国府地区無火災590日は消防団員の火災予防（防火啓発）活動の成果と思います。団員確保には町内会の協力も必要と思います</p>
<p>・地域防災のために消防団は非常に重要で必要性も高い組織だと思います。入団が少ないことは、少子高齢化とともに地域にとって将来的に大きな課題であるとともに、これまで以上に何らかの工夫がなければ解決できない状況だと思います。団員の負担を軽くすること、つらいイメージを払拭し明るいイメージにすること、子どものころから啓発していくことなどで、現在、強い使命感と地域への貢献に理解を持って団活動をしてみえる現役の方々の後継者が育つことを強く願います。</p>
<p>・消防団に対するイメージが悪い。火災などの災害時に必要だが無災害時には遊んでいるだけのイメージがある。操法の練習があることで大変で入団を断られるケースが多い。</p>
<p>・マイナスイメージの払拭をはかれないと団員は増えないと思う。</p>
<p>・平常や緊急時など、全般に活動内容を漠然としか認識していないので、市民の皆に内容を知ってもらう事が必要だと感じます。</p>
<p>・高山市民の財産と安全を陰から守る(縁の下の力持ち的な)、やや目立たないボランティアです。高齢者で旧団員である我々は操法大会を通し早く安全に消火訓練に汗を流す若者をととても頼もしく思っています。</p>
<p>・地域の消防団の方々には何時も感謝をしています。人命救助等の活動などは本当に勉強になります。</p>
<p>・消防活動で学んだ知識や技術を地域（町内活動等）で生かしてほしい。高校等で消防団クラブ活動的な事業を考える。</p>
<p>・退団したくても出来ないなど減少しているためか大変そうです</p>
<p>・現在の社会の状況に合わせて、活動内容などを変えて、参加しやすくしてほしい</p>
<p>・火災、災害が減少傾向にあるなか、必要ないとの意見も多くなってきましたが有事の際は必ず必要なものと考えます。実災害の経験がない人の反対意見だと個人的には思いますが若手も継続に協力できるように行事、訓練の数と報酬を見直し、存続してほしいと考えます。</p>
<p>・消防団員である事を理由に町内会の行事に出てこない。これでは、信頼される団体では無い。逆に反感買う。</p>
<p>・いつもありがとうございます。本職に頼れない地域（遠方）にとっては、とてがかかせない組織だと思っています。大切にしたい組織です。</p>

<p>・大規模災害時は消防団は必要であり安全に活動するため災害に合わせた訓練は必要だと思う。操法など実災害に沿わない訓練ではなく安全に現場活動ができる訓練をするべき。その方が市民は安心できます。地域での訓練指導は地域にいる団員にして頂くと親近感があり良いと思う。役割が多く、それを解消するには団員数を増やすか役割を減らすしかないと思う。手当を増やしたらどうでしょう。</p>
<p>・仕事がありながら時間を割いて消防団員として活動して下さることに感謝しています。</p>
<p>・社会に役に立つ活動をしてほしい。少子化なので、活動より婚活してほしい。ポンプ庫でのタバコは、やめてほしい。公共施設なのではないか？消防団ステッカーを貼った車が、交通違反していた。</p>
<p>・昔ながらのやり方では、新入団員の獲得は厳しいため、消防団全体で最低限の出役で済ませるなどを勘案し、消防団員の募集に取り組んで頂きたいです。</p>
<p>・ボランティアとしての活動として無理がある（拘束時間や活動内容等）日当制にすれば参加する人が増えるのではないかと</p>
<p>・若い世代は地域に溶け込んで活動することを嫌がっているように思います。消防団の活動で一番大変なのは操法大会のための訓練（練習）です。競技として行われるため頑張る班は余計に大変です。若い人たちが参加しやすく、無理のないところでの消防団活動となれば、人員も増えるのではないかと思います。</p>

### 第3章 調査のまとめ

アンケート調査の結果から入団促進・団員確保に関する消防団員や市民の意見を踏まえ、今後、主な課題、取組みが必要な事項についてまとめた。

#### 1. 消防団員の意見

- ① 新入団員の確保対策については、今後新入団員の確保が困難となると感じている団員が87%あるが、解決に結びつくような具体的な対策案の回答は無かった。
- ② 操法大会や出初式、年末夜警など（以下、「消防団行事」という。）を負担に感じており、操法訓練より、実践的な消火訓練を望む意見があった。
- ③ 消火活動や捜索活動などの災害に対しては、やり甲斐を感じているが、その反面、資器材の不足や危険な現場活動に不安を感じている。
- ④ 仕事と消防団活動との両立に苦勞している団員が多く、災害出動や操法訓練への参加に対して本業に支障があると感じている。

#### 2. 市民の意見

- ① 災害時のボランティア活動には前向きであるが、消防団に入団して活動することは考えていない。
- ② 消防団活動が家族への負担となっていると感じており、団員の家族への配慮を求める意見もあった。
- ③ 市民は消防団に対して、消火活動や捜索活動を期待しており、消防団のやり甲斐を感じている活動と一致している。

#### 3. 消防団員の確保に向けた主な課題、取組みが必要な事項

##### ① 現役消防団員の確保

自らの意思で入団した消防団員は少数であり、今後も新入団員の大幅な増加は期待できないことから、入団促進対策と並行して、現役消防団員が長く活躍できる環境を整える等、消防団員の確保に努める必要がある。

##### ② 装備の更新と充実

消防団員が危険な災害現場での活動に不安を感じており、より安全に活動するために、装備の更新や充実が必要である。

##### ③ 優遇制度の検討

団員本人や家族の優遇制度の導入に向けた調査、研究（入団奨励金、減税、表彰時の副賞等）が必要である。

##### ④ 消防団員の活動環境の見直し

多くの消防団員や市民が消防団行事に対して負担や厳しいなどと感じており、これらが入団を妨げる要因の一つと考えられるため、消防団組織検討委員会を中心に消防団行事の時間短縮などの負担軽減策を検討する必要がある。

##### ⑤ 広報媒体の有効活用

従来の入団促進・団員確保の広報を継続するとともに、新たな取組みを検討する必要がある。

